

BTMU CHINA WEEKLY

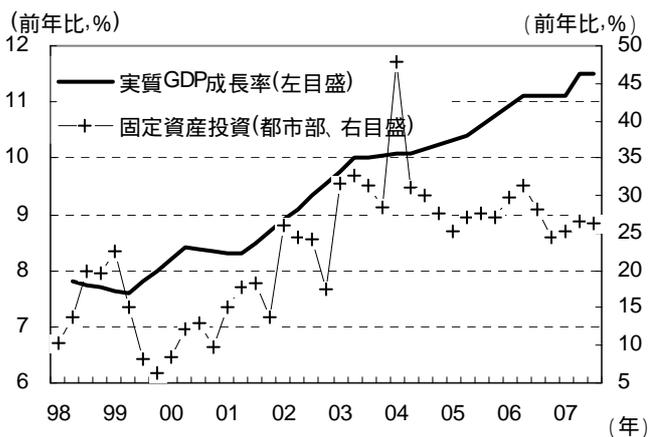
北京レポート:2007年中央経済工作会議開催～2008年の金融政策は「引き締め」

中国共産党と国務院による2007年の中央経済工作会議が12月3日から5日にかけて開催され、2008年のマクロ経済政策の基本方針と経済運営の重点課題が明らかにされた。年に1回開かれる中央経済工作会議は翌年のマクロ経済政策を見通す重要な会議であり、特に2008年は中国共産党第17回全国代表大会後の初年度にあたり、また、改革開放30周年、北京オリンピック開催を迎える年でもあることから、今年の会議は海外の関心も高かった。

今回の会議で最も注目されるのは、マクロ政策の中の金融政策の変化といえよう。マクロ政策の目標として従来の「過熱防止」に「インフレ防止」も加えた「二つの防止」を挙げ、これに合わせて従来の「穏健な金融政策」から「引き締めの金融政策」へ転換することを明らかにし、昨今の「高成長、高インフレ」に対する警戒感を表した。

中国は2003年から5年連続して10%以上の高成長を続ける中、マクロ経済政策では穏健な財政政策と金融政策を組み合わせることでこれに対応してきた。然しながら、2007年半ばから投資と貸出、消費者物価と資産価格の増加の加速傾向が顕著となった為、2007年は5回の利上げと9回の預金準備率引き上げ、さらに中央手形発行等の公開市場操作を通じて流動性の吸収を図ったが、過剰流動性は未だ解消されず、こうした背景の下で金融政策については穏健から引き締め方向に転じた。2008年の引き締め金融政策の具体的内容としては、貸出総量のコントロール、貸出抑制・緩和のコントロール、貸出抑制対象(例:不動産、環境汚染・エネルギー多消費業種向け貸出の規制)の指示といった措置が予想され、また、利上げや預金準備率引き上げのペースを速める可能性もある。

但し、あくまでも経済発展の方向性は「稳中求進(安定を保った上で経済成長を促進させること)」にある為、懸念される米国を始めとする主要輸出国経済の減速が中国経済へ及ぼす影響が予想以上に大きくなれば、金融政策は引き締めの中にあっても微調整、即ち緩和される可能性も否定出来ないであろう。



(注) 各指標は全て各年1月からの累計ベース。
98～2006年の実質GDP成長率は年ベースの数値。
(資料) CEIC等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成



(資料) CEICより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

なお、財政政策については引き続き穏健の方針が維持されるのは、経済構造調整が必要と考えられているため、環境保全・省エネルギー、サービス業、農業への財政支出の拡大により経済構造の調整を進め、財政の移転支出、税収政策を通じて貧困地区、低所得層の収入増加と消費拡大を図り、調和の取れた社会構築を目指すものと思われる。

穏健な財政政策と引き締め金融政策というマクロ政策の組み合わせは中国が初めて発表した政策であり、政府は一層難しい経済運営の舵取りが求められることになり、中国ビジネスに携わる者は引き続き経済情勢と金融政策の動向に目が離せない。

<2008年 経済運営の8つの重点課題>

マクロ政策を改善・徹底し、経済の安定的且つ比較的速い発展の勢いを保持する。

(穏健な財政政策と引き締め金融政策を実施)

農業の基盤地位を固め、農業と農村経済を活性化させる。

技術革新(自主创新)能力を高め、産業構造のグレードアップを推進する。

省エネルギーと環境汚染物質の排出削減を推進する。

地域のバランスの取れた発展を促進し、都市化を積極的且つ穏やかに推進する。

改革を全面的に深化させ、科学的発展を推進し、社会の調和を促進する体制・メカニズムを改善する。

開放型経済の水準を高め、対外開放の新たな局面を切り開く。

民生改善に注力し、社会の調和を促進する。

(三菱東京UFJ(中国)有限公司 企画部 北京業務グループ企画課 石洪)

CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

国家統計局 不動産開発投資の加速に警鐘：

国家統計局が今般発表した研究報告によると、年初来、全国の不動産開発投資は加速傾向にあり、1-3月では前年同期比26.9%増、1-6月では同28.5%増、1-9月では30.3%増となり、2003年の不動産マクロコントロール実施以前の拡大ペースに近づいているという。エコノミー住宅建設等の住宅投資の増加や、不動産市場への外資の流入拡大が特徴的であると分析、急速な投資拡大に警鐘を鳴らすとともに、今後の政策については、現行の経済政策の実施徹底や不動産開発ローンの抑制等マクロコントロール強化を提案している。

「環境保護第11次5ヵ年規画」発表：

国務院は26日、「環境保護第11次5ヵ年規画」を公布した。環境保護への投資額を同期のGDPの1.35%とする目標のほか、大気汚染物、水質汚染物の排出コントロールの徹底、工業廃水処理の強化、製紙、化学工業で水質汚染度の高い小規模企業の淘汰、河川沿いにある化学企業の汚染調査等の具体的施策が盛り込まれている。

【産業】

「第1回中国サービス貿易大会」開催：

商務部は27日、上海で開催された「第1回中国サービス貿易大会」と「中国サービス貿易協会設立大会」で、「中国サービス貿易発展報告2007」を発表。今後のサービス貿易業の発展政策について、国家級モデル地区の建設、国際サービス貿易の統計制度の整備・構築、サービスのアウトソーシング、旅行業、海運業、金融保険サービス等を重点業種として促進等の方針を明らかにした。

【貿易・投資】

加工貿易の中西部移転を支援：

商務部と国家開発銀行は、先般共同で「中西部地区への加工貿易の段階的なシフトを支援することに関する意見」を発表。今後3年間の全体目標として、中西部における50箇所の加工貿易移転受入れ地区の建設、インフラ建設や重要な加工貿易プロジェクトに対する300億元の政策融資枠設定、全国加工貿易総額に占める中西部のシェア5%、等を掲げた。

【金融・為替】

温家宝「人民元為替相場の弾力性を高める」：

温家宝総理は28日、第4回中国・欧州工商トップフォーラムにおいて、中国は市場の果たす役割を拡大し、人民元為替相場の弾力性を高めることで、引き続き人民元為替相場の形成メカニズムを改善していくと発言した。また、人民元対ユーロの為替相場は、人民元対米ドル相場と米ドル対ユーロ相場によって決定されるものであり、最近の対人民元でのユーロ高は米ドル安によるものと指摘した。

人民元の動き

日付	Open	Range	Close	JPY		HKD		EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	前日比	
				前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close				
2007.11.26	7.3990	7.3944~7.4040	7.3969	-0.0091	6.8123	-0.0589	0.9511	-0.0009	11.0001	-0.0088	2.7700	5205.46	-76.3200
2007.11.27	7.3890	7.3840~7.3896	7.3840	-0.0129	6.8361	0.0238	0.9489	-0.0022	10.9526	-0.0475	2.6000	5102.95	-102.5100
2007.11.28	7.3899	7.3810~7.4040	7.3945	0.0105	6.7900	-0.0461	0.9496	0.0007	10.9032	-0.0494	2.0900	5041.83	-61.1200
2007.11.29	7.3980	7.3810~7.4025	7.3824	-0.0121	6.6993	-0.0907	0.9477	-0.0019	10.8889	-0.0143	2.9700	5251.85	210.0200
2007.11.30	7.3817	7.3800~7.4010	7.4000	0.0176	6.7126	0.0133	0.9496	0.0019	10.8969	0.0080	2.7400	5112.13	-139.7200

RMB レビュー&アウトルック

中国人民元は前週末比、小幅高となる7.3990でオープン。今週はフランス大統領、欧州中銀総裁の中国訪問や週末の日本とのハイレベル経済対話があり、同会談にて一段の人民元為替水準の引き上げが求められるとの思惑より、週前半の人民元は今週も為替制度変更後の最高値を更新するなどじり高推移となった。しかしその後は、スポット応答日が月末にあたる28日に実需筋の月末ドル資金手配の動きから7.4000台まで反落。翌日には再び7.3800近辺まで上昇するも、高値警戒感から週末の引けにかけて同日中銀基準値である7.4000近辺まで反落するなど神経質な値動きとなった。米ドルの対主要通貨での下落が一服しつつある中、共産党大会以降に加速していた人民元の対ドルでの上昇スピードはやや減速することが予想され、来週は心理的抵抗線として意識される7.3800近辺での神経質な値動きを予想する。

(市場業務部 為替グループ アジア・エマージング通貨チーム)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ、宜しく申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。